

家庭科3年・生活文化(2単位)

目標

戦後急速に私たちの生活の中から失われたものが多くある中、生活文化・伝承文化の継承と創造についての具体的な学習を通して、昔の人が大切にしてきたもの(形あるもの・無いもの)に気づき、真の生活の豊かさを伝える機会としたい。

学習概要

日本の四季を感じながら歳時記のように生活文化を学び、新しい時代に継承・創造していく能力を養う。できるだけ毎回体験学習を取り入れる。一番身近な『食分野』の学習を中心に進め、人間の心と体を豊かにするためには何が必要か、日常の些細な当たり前のことに気づけるよう授業を組み立てていく。

使用教材

自主作成資料プリント

副教材 お料理1年生(ベターホーム協会)

授業形式

実習形式が中心となる。

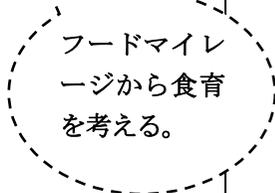
家庭学習

地域の広報誌・情報誌を読む。新聞を読む。あたりまえの日常生活を丁寧に過ごす(暮らしの主人公であって欲しい)。加えて、授業でやったことを家庭で再度やる(復習)ことが大切な家庭学習である。

評価

レポート・発表・授業で活用しているワークシート等や提出物。さらには授業の取り組みなどを、4つの観点(1、関心・意欲・態度 2、思考・判断 3、技能・表現 4、知識・理解)から評価規準を作成し、総合的に評価する。

年間指導計画

	月	学習単元	学習内容	備考
前期	4	年間計画・導入	<ul style="list-style-type: none"> ・何をどう学習するのか。 ・桜餅、生八橋、グラタン、パスタ ・畑を作る 	
	5	季節の料理	<ul style="list-style-type: none"> ◎季節の料理に挑戦する。 ・和菓子づくり(水菓子など) ・携行食について 	
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・行事食(弁当コンテスト) ・保存食づくり(ジャム・梅干) ・食中毒についての工夫 	
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・中華料理 ・冷たいデザートコンテスト 	
	8		<ul style="list-style-type: none"> ・火を使わない料理 	
	9		<ul style="list-style-type: none"> ◎公的機関見学実施 ・日本の伝統の継承や創出はどこでどのように行われているのか。自分たちに期待されるものは何なのか。 	ボランティアセンター、消費生活センター、市役所など、フィールドワークを実施
	10	関西の祭りとその周辺	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域を知る。伝統行事の心と形を学ぶ。 ・関西の祭りとその周辺(特に食としつらい)を学ぶ。 	地産地消を推進
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・和菓子(おはぎ・みたらし・月見団子) ・洋菓子(アップルパイ・クリスマスケーキ) 	
	12		<ul style="list-style-type: none"> ・寿司のいろいろ 	
1	日本の伝統を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・『正月』に学ぶ。 新しい御節、包丁技術、和室での作法(京菓子とお茶をいただく) 		
後期	2		<ul style="list-style-type: none"> ・受験にやさしい食事づくり、脳の活性化を図る・ストレスに強くなる献立 	